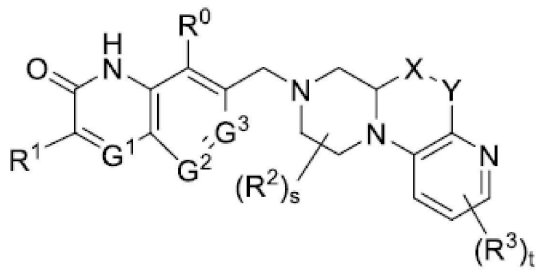
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和7年6月3日(2025.6.3)

【国際公開番号】WO2022/247816
【公表番号】特表2024-519188(P2024-519188A)
【公表日】令和6年5月8日(2024.5.8)
【年通号数】公開公報(特許)2024-083
【出願番号】特願2024-515728(P2024-515728)
【国際特許分類】
C07D498/04(2006.01)
A61P 43/00(2006.01)
A61P 35/00(2006.01)
A61P 35/02(2006.01)
C07D519/00(2006.01)
A61K 31/5383(2006.01)
A61K 31/553(2006.01)
A61K 31/4985(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｄ４９８/０４　　ＣＳＰ
Ａ６１Ｐ ４３/００ １１１
Ａ６１Ｐ ３５/００
Ａ６１Ｐ ３５/０２
Ｃ０７Ｄ５１９/００ ３０１
Ａ６１Ｋ ３１/５３８３
Ａ６１Ｋ ３１/５５３
Ｃ０７Ｄ５１９/００ ３１１
Ａ６１Ｋ ３１/４９８５

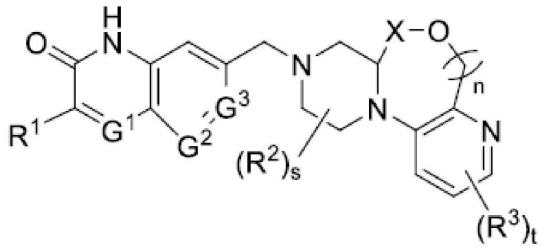
【手続補正書】
【提出日】令和7年5月26日(2025.5.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
一般式（ＩＭ）で示される化合物又はその薬用可能な塩であって、
【化１】



(IM)

そのうち、
XとYは相同又は相異であり、且つそれぞれ独立的に（$CR^{4a}R^{4b}$）$_m$、NR^5（$CR^{4c}R^{4d}$）$_r$、C（O）NR^5、NR^5C（O）、C（O）とO（$CR^{4e}R^{4f}$）$_n$から選ばれ、
R^{4a}、R^{4b}、R^{4c}、R^{4d}、R^{4e}とR^{4f}は相同又は相異であり、且つそれぞれ独立的に水素原子、ハロゲン、アルキル基、ハロアルキル基、ヒドロキシアルキル基、シクロアルキル基、ヘテロシクリル基、アリール基とヘテロアリール基から選ばれ、
R^5は、水素原子、アルキル基、ハロアルキル基、ヒドロキシアルキル基、シクロアルキル基、ヘテロシクリル基、アリール基とヘテロアリール基から選ばれ、
G^1、G^2とG^3は相同又は相異であり、且つそれぞれ独立的にCR^6又は窒素原子であり、
R^0、R^1とR^6は相同又は相異であり、且つそれぞれ独立的に水素原子、ハロゲン、アルキル基、アルコキシ基、ハロアルキル基、ハロアルコキシ基、ヒドロキシアルキル基、シアノ基、－$NR^{7a}R^{7b}$、ヒドロキシ基、－C（O）R^8、－C（O）OR^8、－C（O）$NR^{7a}R^{7b}$、－S（O）$_pR^8$、シクロアルキル基、ヘテロシクリル基、アリール基とヘテロアリール基から選ばれ、そのうち、前記アルキル基、アルコキシ基、シクロアルキル基、ヘテロシクリル基、アリール基とヘテロアリール基は、それぞれ独立して任意選択的にハロゲン、オキソ基、アルキル基、アルコキシ基、ハロアルキル基、ハロアルコキシ基、シアノ基、－$NR^{9a}R^{9b}$、ヒドロキシ基、ヒドロキシアルキル基、シクロアルキル基、ヘテロシクリル基、アリール基とヘテロアリール基から選ばれる１つ又は複数の置換基で置換され、
各R^2は相同又は相異であり、且つそれぞれ独立的にハロゲン、アルキル基、アルコキシ基、ハロアルキル基、ハロアルコキシ基、オキソ基、シアノ基、－$NR^{7a}R^{7b}$、ヒドロキシ基とヒドロキシアルキル基から選ばれ、
各R^3は相同又は相異であり、且つそれぞれ独立的にハロゲン、アルキル基、アルコキシ基、ハロアルキル基、ハロアルコキシ基、ヒドロキシアルキル基、シアノ基、－$NR^{7a}R^{7b}$、ヒドロキシ基、－C（O）R^8、－C（O）OR^8、－C（O）$NR^{7a}R^{7b}$、－S（O）$_pR^8$、シクロアルキル基、ヘテロシクリル基、アリール基とヘテロアリール基から選ばれ、そのうち、前記アルキル基、アルコキシ基、シクロアルキル基、ヘテロシクリル基、アリール基とヘテロアリール基はそれぞれ独立して任意選択的にハロゲン、オキソ基、アルキル基、アルコキシ基、ハロアルキル基、ハロアルコキシ基、シアノ基、－$NR^{9a}R^{9b}$、ヒドロキシ基、ヒドロキシアルキル基、シクロアルキル基、ヘテロシクリル基、アリール基とヘテロアリール基から選ばれる１つ又は複数の置換基で置換され、
R^{7a}、R^{7b}、R^{9a}とR^{9b}は相同又は相異であり、且つそれぞれ独立的に水素原子、アルキル基、ヒドロキシアルキル基、シクロアルキル基とヘテロシクリル基から選ばれ、そのうち、前記アルキル基、シクロアルキル基とヘテロシクリル基は、それぞれ独立して任意選択的にハロゲン、アルキル基、アルコキシ基、ハロアルキル基とハロアルコキシ基から選ばれる１つ又は複数の置換基で置換され、
あるいは、R^{7a}とR^{7b}は連結する窒素原子と共にヘテロシクリル基を形成し、R^{9a}とR^{9b}は連結する窒素原子と共にヘテロシクリル基を形成し、形成された前記ヘテロシクリル基は任意選択的にハロゲン、オキソ基、アルキル基、アルコキシ基、ハロアルキル基、ハロアルコキシ基、シアノ基、アミノ基、ニトロ基、ヒドロキシ基、ヒドロキシアルキル基、シクロアルキル基、ヘテロシクリル基、アリール基とヘテロアリール基から選ばれる１つ又は複数の置換基で置換され、
R^8は水素原子、アルキル基、ヒドロキシアルキル基、シクロアルキル基とヘテロシクリル基から選ばれ、そのうち、前記アルキル基、シクロアルキル基とヘテロシクリル基は、それぞれ独立して任意選択的にハロゲン、アルキル基、アルコキシ基、ハロアルキル基とハロアルコキシ基から選ばれる１つ又は複数の置換基で置換され、
pは０、１又は２であり、

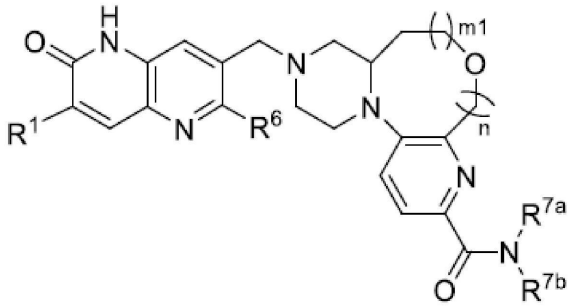
ｍは０、１、２、３又は４であり、
ｎは０、１、２、３又は４であり、
ｒは０、１、２、３又は４であり、
ｓは０、１、２、３又は４であり、且つ
ｔは、０、１、２又は３である、
一般式（ＩＭ）で示される化合物又はその薬用可能な塩。
【請求項２】
Ｘは（ＣＲ^{4a}Ｒ^{4b}）$_m$又はＣ（Ｏ）であり、そのうち、Ｒ^{4a}、Ｒ^{4b}とｍは請求項１に定義された通りである、
請求項１に記載の一般式（ＩＭ）で示される化合物又はその薬用可能な塩。
【請求項３】
ＹはＯ（ＣＲ^{4e}Ｒ^{4f}）$_n$又はＮＲ^5（ＣＲ^{4c}Ｒ^{4d}）$_r$であり、そのうち、Ｒ^{4c}、Ｒ^{4d}、Ｒ^{4e}、Ｒ^{4f}、Ｒ^5、ｎとｒは請求項１に定義された通りである、
請求項１に記載の一般式（ＩＭ）で示される化合物又はその薬用可能な塩。
【請求項４】
一般式（ＩＩ－１）で示される化合物又はその薬用可能な塩であり、
【化２】



(II-1)

そのうち、
Ｘは、（ＣＲ^{4a}Ｒ^{4b}）$_m$であり、
Ｇ^1～Ｇ^3、Ｒ^1～Ｒ^3、Ｒ^{4a}、Ｒ^{4b}、ｓ、ｔ、ｍとｎは請求項１に定義された通りである、
請求項１に記載の一般式（ＩＭ）で示される化合物又はその薬用可能な塩。
【請求項５】
ｓは０である、請求項１に記載の一般式（ＩＭ）で示される化合物又はその薬用可能な塩。
【請求項６】
Ｇ^{1}はＣＨ、Ｇ^{2}は窒素原子、且つＧ^{3}はＣＲ^{6}であり、あるいは、Ｇ^{1}とＧ^{2}は何れもＣＨ、且つＧ^{3}は窒素原子であり、あるいは、Ｇ^{1}は窒素原子、Ｇ^{2}はＣＨ、且つＧ^{3}はＣＲ^{6}であり、そのうち、Ｒ^{6}は請求項１に定義された通りである、
請求項１に記載の一般式（ＩＭ）で示される化合物又はその薬用可能な塩。
【請求項７】
Ｒ^{3}はハロゲン、Ｃ$_{1-6}$アルキル基、Ｃ$_{1-6}$アルコキシ基、Ｃ$_{1-6}$ハロアルキル基、Ｃ$_{1-6}$ハロアルコキシ基、Ｃ$_{1-6}$ヒドロキシアルキル基、シアノ基、－ＮＲ^{7a}Ｒ^{7b}、ヒドロキシ基、－Ｃ（Ｏ）Ｒ^8、－Ｃ（Ｏ）ＯＲ^{8}と－Ｃ（Ｏ）ＮＲ^{7a}Ｒ^{7b}から選ばれ、好ましくは、Ｒ^{3}は－Ｃ（Ｏ）ＮＲ^{7a}Ｒ^{7b}であり、そのうち、Ｒ^{7a}、Ｒ^{7b}とＲ^{8}は請求項１に定義された通りである、
請求項１に記載の一般式（ＩＭ）で示される化合物又はその薬用可能な塩。
【請求項８】
一般式（ＩＩＩ－１）、一般式（ＩＩＩ－１－Ａ）で示される化合物又はその薬用可能な塩であり、

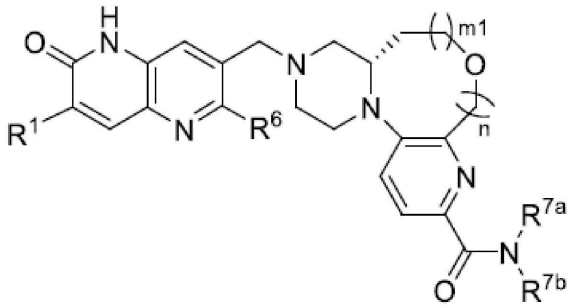
【化３】



(III-1)

又は

【化４】



(III-1-A)

そのうち、
ｍ１は０又は１であり、
Ｒ^{1}、Ｒ^{6}、Ｒ^{7a}、Ｒ^{7b}とｎは請求項１に定義された通りである、
請求項１に記載の一般式（ＩＭ）で示される化合物又はその薬用可能な塩。

【請求項９】
Ｒ^{1}は水素原子、ハロゲン、Ｃ$_{1-6}$アルキル基、Ｃ$_{1-6}$アルコキシ基、Ｃ$_{1-6}$ハロアルキル基、Ｃ$_{1-6}$ハロアルコキシ基とＣ$_{1-6}$ヒドロキシアルキル基から選ばれる、
請求項１に記載の一般式（ＩＭ）で示される化合物又はその薬用可能な塩。

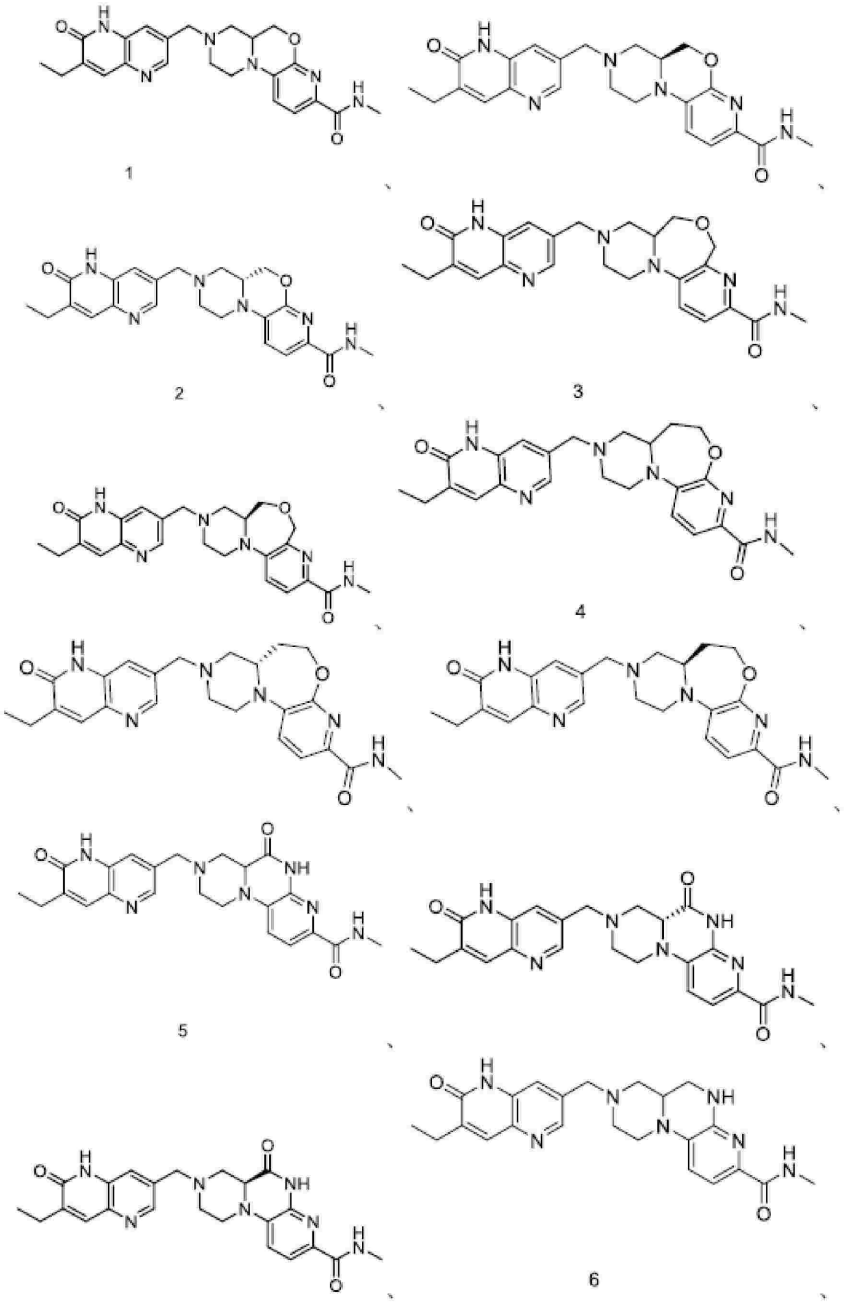
【請求項１０】
Ｒ^{6}は水素原子、ハロゲン、Ｃ$_{1-6}$アルキル基、Ｃ$_{1-6}$アルコキシ基、Ｃ$_{1-6}$ハロアルキル基、Ｃ$_{1-6}$ハロアルコキシ基とＣ$_{1-6}$ヒドロキシアルキル基から選ばれる、
請求項１に記載の一般式（ＩＭ）で示される化合物又はその薬用可能な塩。

【請求項１１】
Ｒ^{7a}とＲ^{7b}は相同又は相異であり、且つそれぞれ独立的に水素原子、Ｃ$_{1-6}$アルキル基、Ｃ$_{1-6}$ヒドロキシアルキル基、３～８員シクロアルキル基と３～８員ヘテロシクリル基から選ばれる、
請求項１に記載の一般式（ＩＭ）で示される化合物又はその薬用可能な塩。

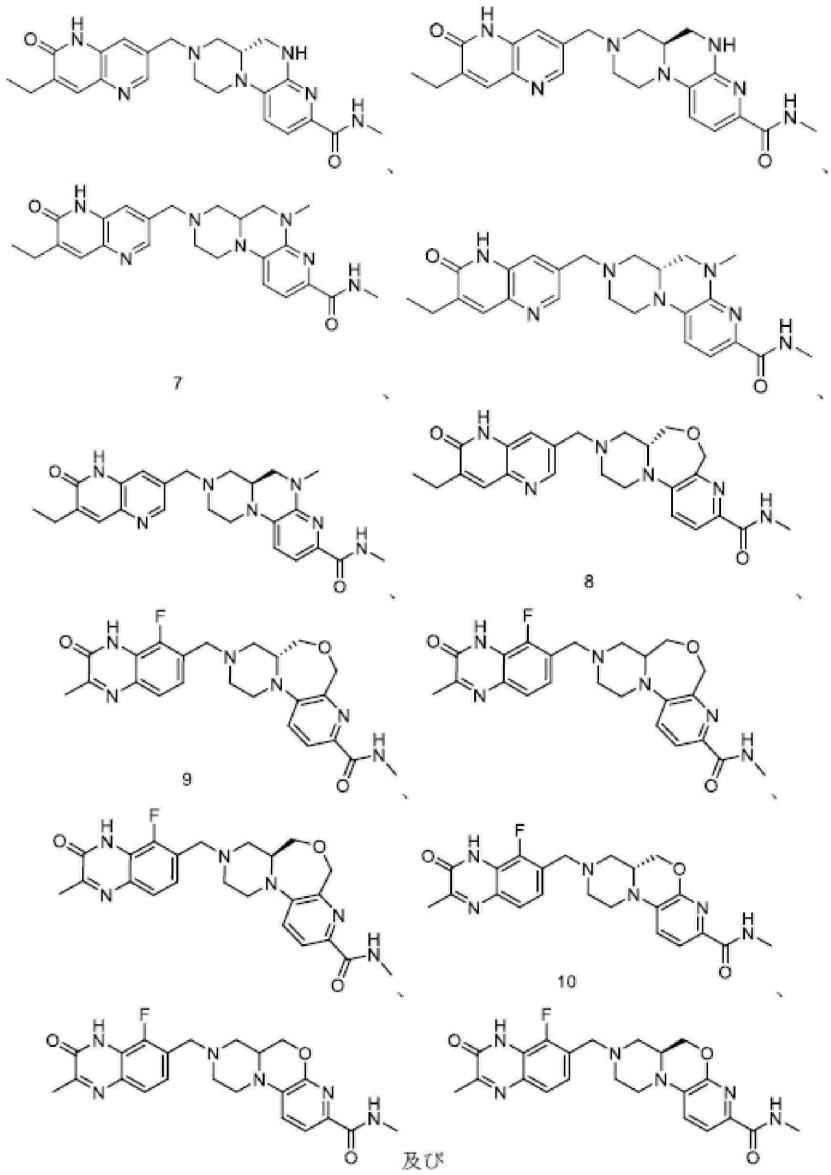
【請求項１２】
ｎは０又は１である、請求項１に記載の一般式（ＩＭ）で示される化合物又はその薬用可能な塩。

【請求項１３】

【化５】



【化６】

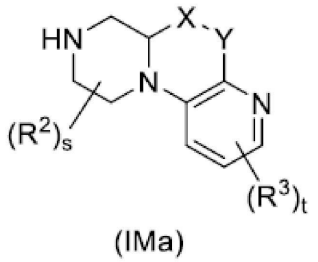


という化合物から選ばれる何れか１つである、請求項１に記載の一般式（ＩＭ）で示される化合物又はその薬用可能な塩。

【請求項１４】

一般式（ＩＭａ）で示される化合物又はその塩であって、

【化７】



(IMa)

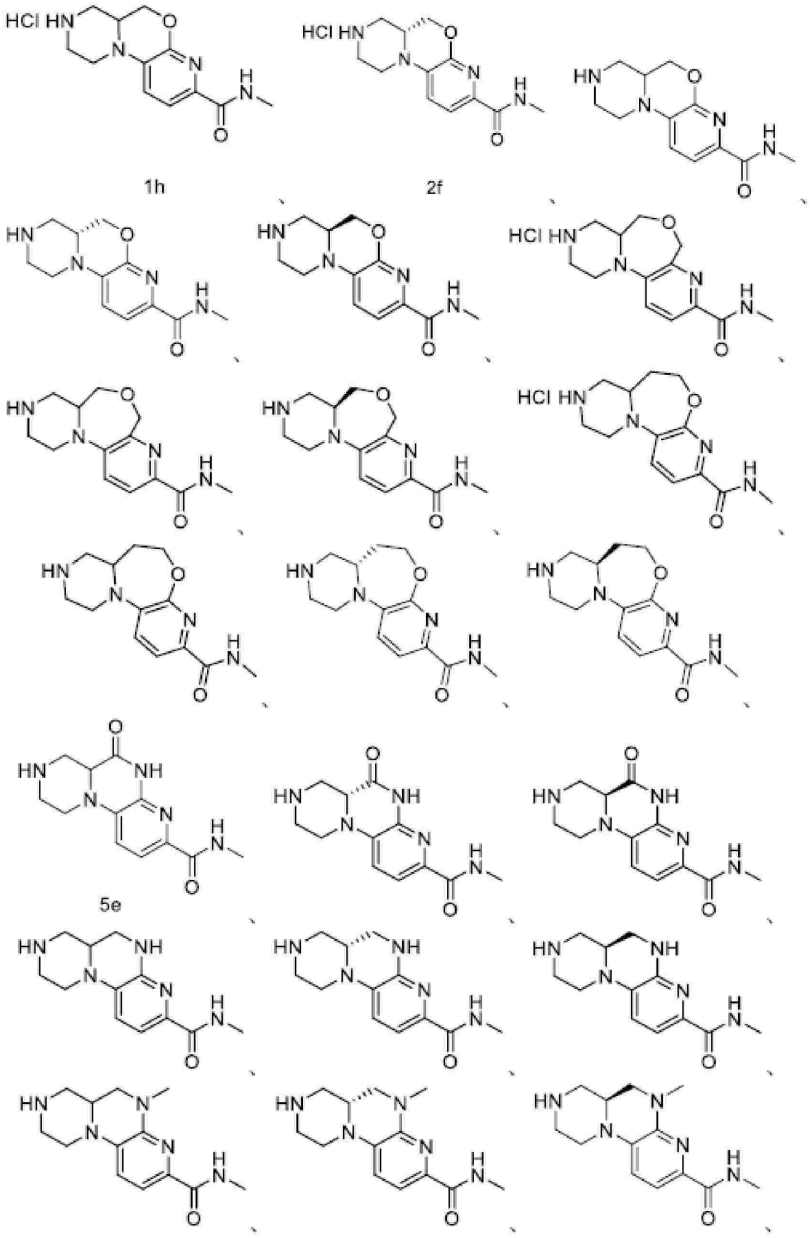
そのうち、

ｔは１、２又は３であり、

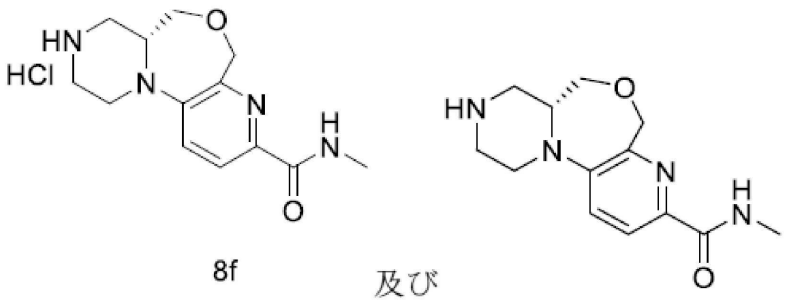
Ｘ、Ｙ、Ｒ^{2}、Ｒ^{3}とｓは請求項１に定義された通りである、

一般式（ＩＭａ）で示される化合物又はその塩。

【請求項１５】
【化８】

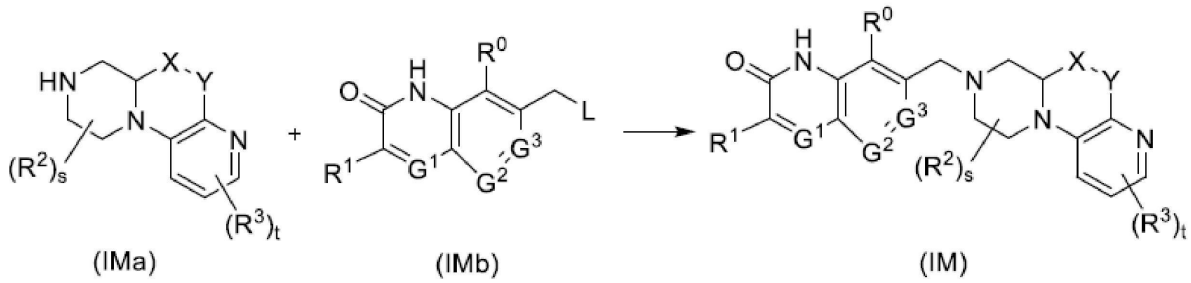


【化９】



から選ばれる、請求項１４に記載の一般式（ＩＭａ）で示される化合物又はその塩。
【請求項１６】
請求項１に記載の一般式（ＩＭ）で示される化合物又はその薬用可能な塩を調製する方法であって、

【化１０】



(IMa) (IMb) (IM)

一般式（ＩＭａ）の化合物又はその塩（好ましくは塩酸塩）を一般式（ＩＭｂ）の化合物と求核置換反応させ、一般式（ＩＭ）の化合物又はその薬用可能な塩を得ることを含み、

そのうち、

Ｌはハロゲン、好ましくは塩素原子であり、

Ｘ、Ｙ、Ｇ^{1}～Ｇ^{3}、Ｒ^{0}～Ｒ^{3}、ｓとｔは、請求項１に定義された通りである、

方法。

【請求項１７】

請求項１～１３の何れか一項に記載の一般式（ＩＭ）で示される化合物又はその薬用可能な塩と、１種又は複数種の薬学的に許容されるベクター、希釈剤又は賦形剤とを含む、医薬組成物。

【請求項１８】

ＰＡＲＰ１阻害剤の調製における、請求項１～１３の何れか一項に記載の一般式（ＩＭ）で示される化合物又はその薬用可能な塩の、

用途。

【請求項１９】

癌を治療及び／又は予防するための薬剤の調製における、請求項１～１３の何れか一項に記載の一般式（ＩＭ）で示される化合物又はその薬用可能な塩の、

用途。

【請求項２０】

前記癌は、乳癌、卵巣癌、膵臓癌、前立腺癌、胃癌、結腸直腸癌、肺癌、腎臓癌、肝臓癌、子宮頸癌、子宮内膜癌、骨髄腫、白血病、リンパ腫、聴神経腫、基底細胞癌、胆管癌、膀胱癌、脳癌、気管支癌、肉腫、脊索腫、絨毛癌、頭蓋咽頭腫、嚢胞腺癌、胚性癌、血管内皮細胞腫、上衣腫、上皮癌、食管癌、原発性血小プレート増加症、ユーイング肉腫、精巣癌、神経膠腫、重鎖病、血管芽腫、髄様癌、髄芽腫、黒色腫、髄膜腫、中皮腫、グリオーマ、ＮＵＴ正中線癌、神経膠腫、骨癌、鼻咽頭癌、口腔癌、甲状腺癌、松果体瘤、真性赤血球増加症、網膜芽腫、皮脂腺癌、精上皮腫、皮膚癌、扁平上皮癌、滑膜腫、汗腺癌、ヴァルデンストレームマクログロブリン血症とウィルムス腫瘍から選ばれ、好ましくは、前記癌は乳癌、卵巣癌、膵臓癌、前立腺癌、胃癌、結腸直腸癌と肺癌から選ばれる、

請求項１９に記載の用途。